

台風第 19 号災害による農地復旧に対する要望

1. 用排水路の早急な復旧

用排水路の確保ができれば、来春に作付けができる水田があるため、早急に復旧することを求めます。

用排水路は多くの水田が接続しており、水が通らないということは作付できず収穫を得られないということでもあります。このため、来春の田植えを迎えられるよう、そして収穫でき新米を食することで復旧の苦勞が実るよう、早急な復旧を求めるものであります。

2. 災害復旧工事費の個人負担部分の軽減

災害復旧工事にかかる設計費用について、これまで以上の個人負担軽減を求めます。

農地は、動かすことができない上に所有者も点在しているものであります。被害を受けた農地を復旧せずに、耕作をやめる者が増えれば、耕作地と耕作放棄地が入り乱れ、農作業や農作物へ及ぼす影響が危惧されます。耕作放棄地の発生防止のため、多くの農業者が復旧工事に取り組みやすくし、一体的な復旧がなされるよう、設計費用にかかる自己負担への手厚い助成を求めるものであります。

耕作放棄地を最小限に抑え、農業・農地を守ることから、当農業委員会において要望するに至ったものであります。

趣旨をご理解の上、迅速な対応をお願いいたします。

令和元年 12月 26日

伊達市長 須田 博行 様

伊達市農業委員会
会 長 清野 直人